

港区正保学区 震災避難行動マップ



津波避難ビル

地震が収まったあと、津波による危険から命を守るために、**一時的に滞在する施設**

施設名称・マンション名	所在地	階層	収容人数
名古屋出入国在留管理局	正保町5-18	6	1,700
正保小学校(校舎棟)	正保町5-22	4	1,123
正保荘1棟	正保町3-1	7	414
正保荘2棟	正保町3-1	7	396
メゾンサンヒル	川西通5-1	7	187
宝マンション川間町スクエア	川間町1-11	9	1,198
港が見えるマンション	川間町3-37	7	30
宝マンション川間町	川間町3-42	8	181
ライオンズマンション武道館前	小割通1-6	9	120
宝正徳公園ハイツ	正徳町1-19	14	282
セトル正徳	正徳町5-5	5	38
アメニティ正徳	正徳町5-6	11	200
ライオンズマンション正徳町第2	正徳町6-13-1	13	120
ライオンズマンション正徳町	正徳町6-50-3	14	80
リバティ東洋	正保町7-103	4	28
みらいろ	正保町8-110	3	131

わが家の津波避難先

緊急避難 指定緊急避難場所

命を守るため、災害の危険からまずは逃げるための場所

災害の種類	指定緊急避難場所	開設基準
洪水・内水 氾濫	想定浸水深以上にある市立小・中学校など	「避難準備・高齢者等避難開始」発表
土砂災害	土砂災害警戒区域にない市立小・中学校など	
津波	津波避難ビル	伊勢・三河湾に大津波警報発表
地震の揺れ	・公立小・中・一部の高校などのグラウンド ・広域避難場所 ・一時避難場所	震度5強以上の地震
大規模な火事	広域避難場所	—

食料・飲料水、日用品、薬を持って避難所へ行きましょう



指定避難所

災害が落ち着いた後、自宅が被災して帰宅できない場合、**一定期間、避難生活を送るための施設**
(公立小・中・一部の高校の体育館・コミュニティセンターなど)

施設名称	所在地	避難場所	収容人数
正保小学校	正保町5-22	体育館 トワイライトルーム1 トワイライトルーム2	290
正保コミュニティセンター	正保町8-134	第1会議室 第2会議室	40
港北幼稚園	正徳町5-135	教室 ホール	185

凡 例

指定避難所

Designated Evacuation Shelter
local de refúgio predeterminado
指定避難所
지정 대피소

津波避難ビル

Tsunami Evacuation Building
Prédios para o refúgio em caso de tsunami
海啸避难大楼
해일 대피 빌딩

広域避難場所

一時避難場所

地下式給水栓



(津波がない) 大地震や火事から避難



地震発生！災害時の対応

港区正保学区 災害時の特性と対策

南海トラフ巨大地震が発生した場合、震度6強の非常に激しい揺れが想定されます。自分の身を確実に守るため、日頃から家具の転倒防止などの耐震対策に努めましょう。

また、名古屋港には、津波（※30cmの津波）が最短96分で到達し、その後最大3.6mの津波が想定されます。限られた時間を有効に使って津波避難ビルへ避難しましょう。

液状化現象の可能性も高く、建物が傾いたり、路上に泥水があふれ出したりして、通れなくなる恐れがあります。

日頃から、適切な避難先、そこまで安全にたどり着くための経路を考えておきましょう。



津波発生時の地域での声かけ・避難支援

隣近所など地域での「声かけ」と「避難支援」が大事な命を救います。地震の揺れがおさまったあとは、地域の皆さんで声かけをし、いち早く避難行動が取れるよう協力しましょう。日頃から一人で避難できない方（高齢者・障がいのある方など）を把握しておきましょう。

情報の入手や判断が難しい方

（例えばこんな方）

目が見えない方、耳の聞こえない方、認知症の方、知的障がいのある方、日本語が苦手な外国人、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯など

（対応方法）



移動が難しい方

（例えばこんな方）

普段、杖・押し車・車椅子などを使っている人、寝たきりの人、けが人、病人、妊婦さんなど

（対応方法）



提供 効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議



まずひくく



あたまをまもり



うごかない

●身の安全の確保

- ・家具、ガラス戸から離れる
- ・机の下に隠れて、低い姿勢で身を守る
- ・安全に消せる場合は、火を消す（ブレーカーを落とす）
- ・扉を開けて出口を確保する
- ・屋外では、建物やブロック塀などからすぐ離れる

寝室に物を置かない！

揺れがおさまった

津波避難ビルを
目指して避難開始

津波警報解除
避難勧告解除

災害の危険解消

自宅での生活が可能か

- 在宅避難
- ✕ 指定避難所等へ

津波から
安全に避難
するための
5つの
ポイント

①揺れが収まったら高台へ。
時間がなければ津波避難
ビルへ避難！



②隣近所へ声をかけ、
原則、徒歩で避難！



③高齢者や障がいの
ある方などの避難
支援を！



④引き返さない！
安全確認が済むまで
避難継続を！



⑤海岸や河川には
絶対近づかない！

